

湯布院・日出生台・大分敷戸 ふるさと 故郷を戦争の拠点にさせない！

3月9日未明、熊本県の健軍駐屯地に「長射程ミサイル」の発射機や装備が地元住民の反対の声の中、搬入されました。これは全国に先駆けて熊本に搬入されたもので、今後、大分市の敷戸弾薬庫、湯布院駐屯地でも、今後、正式配備の日程が出てくるのが懸念されます。

日出生台では、1999年から実施されている米軍移転演習が年々拡大傾向にあり、現在、米軍はさらに新しい武器の使用を認めるよう要求してきています。

近年は、日米共同訓練も毎年のように頻繁に行われるようになり、オスプレイの飛行訓練も県内各地の生活圏上空で実施されるようになっていきます。

いったい今、何が起きているのか、私たちはこの問題をどう考えたらいいのか。急速に進みつつある軍事拡大の動きは一体、本当に私たちに平和な未来をもたらすのか、この問題に詳しい布施祐仁さんのお話を聞いて、一緒に考えてみたいと思います。



【第1部】 13:30~

布施祐仁さん 講演会

(フリージャーナリスト)

【第2部】 16:10~

<湯布院・大分市敷戸・九州各地の報告集会>
長射程ミサイルはどこにもいらない！

○日時：2026年5月24日（日）

13時会場、13時半開演

○場所：ゆふいんラックホール3F小ホール

入場無料

※会場での任意カンパにご協力ください

主催：湯布院ミサイル問題ネット

ローカルネット大分・日出生台

協賛：大分敷戸ミサイル弾薬庫問題を考える市民の会

戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク

平和を求め軍拡を許さない女たちの会・おおいた

平和を求め軍拡を許さない女たちの会・熊本

ときつ
お問い合わせ：鯨津憲司 kuzilakun@gmail.com